



## 平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月6日

上場会社名 ナラサキ産業株式会社  
コード番号 8085 URL <http://www.narasaki.co.jp/>

上場取引所 東札

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 克久

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員 (氏名) 毎原 吉紀

TEL 03-6732-7355

四半期報告書提出予定日 平成30年11月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	46,356	4.8	937	3.4	989	7.1	649	2.2
30年3月期第2四半期	44,224	6.3	906	47.0	923	36.7	634	52.9

(注)包括利益 31年3月期第2四半期 712百万円 (7.2%) 30年3月期第2四半期 767百万円 (69.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	122.83	
30年3月期第2四半期	120.46	

(注)当社は、平成30年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	47,825	14,809	30.2
30年3月期	51,267	14,359	27.3

(参考)自己資本 31年3月期第2四半期 14,436百万円 30年3月期 13,999百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		10.00	10.00
31年3月期		0.00			
31年3月期(予想)				55.00	55.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成30年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成31年3月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

### 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	102,000	0.4	2,500	0.1	2,500	1.6	1,600	5.1	302.98

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成30年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成31年3月期の通期連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	5,325,600 株	30年3月期	5,325,600 株
期末自己株式数	31年3月期2Q	36,362 株	30年3月期	44,730 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	5,285,160 株	30年3月期2Q	5,270,850 株

(注)当社は、平成30年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成30年5月15日に公表しました業績予想に変更はございません。  
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- 当社は、平成30年6月28日開催の第75期定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成30年10月1日付で、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。なお、当該株式併合の影響を考慮しない場合の平成31年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。  
・平成31年3月期の配当予想(1株当たり期末配当金) : 11円00銭  
・平成31年3月期の連結業績予想(1株当たり当期純利益) : 通期 60円60銭

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(追加情報) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善が続き緩やかな回復基調で推移しましたが、エネルギー価格や人件費の上昇、米国の通商政策の動向等が懸念材料となり、先行きの不透明な状況が続きました。

このような状況の中、当社グループは持続的成長と企業価値向上の実現に向けて、中期経営計画の基本方針に基づきグループ総合力の発揮、財務体質の改善等に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は463億56百万円（前年同期比4.8%増）、営業利益は9億37百万円（前年同期比3.4%増）、経常利益は9億89百万円（前年同期比7.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億49百万円（前年同期比2.2%増）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

## (電機関連事業)

電機関連事業では、生産設備関連において減速感が見られるものの、レーザ加工機等の受注・販売は堅調に推移しました。一方、建築設備関連では需要の回復に伴い制御機器等の機器製品の販売は伸長しましたが、施設関連が低調な推移となりました。

以上の結果、売上高は113億91百万円（前年同期比1.3%減）、セグメント利益は4億99百万円（前年同期比9.2%減）となりました。

## (機械関連事業)

機械関連事業では、農業施設において農産加工設備等の受渡しが順調に進んだことから売上高は前期水準を維持しましたが、原価増加による収益への影響を吸収するには至りませんでした。

以上の結果、売上高は42億95百万円（前年同期比1.1%減）、セグメント損失40百万円（前年同期はセグメント利益74百万円）となりました。

## (建材・燃料関連事業)

建材関連事業では、建築資材におけるシステム建築や杭工事等、土木資材における道路・橋梁資材の受渡しが順調に推移しました。燃料関連事業では、原油価格の高値が続いたこともありガソリン等の販売量が伸び悩んだものの、安定した市況により収益面は好調に推移しました。

以上の結果、売上高は198億50百万円（前年同期比9.7%増）、セグメント利益は2億38百万円（前年同期比54.6%増）となりました。

## (海運関連事業)

連結子会社のナラサキスタックス(株)では、度重なる大型台風や北海道胆振東部地震の影響を受けたものの、鋼材を中心とした建築関係貨物の取扱いが順調に推移しました。

以上の結果、売上高は88億90百万円（前年同期比5.7%増）、セグメント利益は2億円（前年同期比58.3%増）となりました。

## (建設機械関連事業)

建設機械関連事業では、首都圏を中心とした再開発工事が引き続き堅調であり、コンクリートポンプ車等の販売が順調に推移しました。

以上の結果、売上高は19億28百万円（前年同期比5.7%増）、セグメント利益は73百万円（前年同期比86.2%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は478億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ34億42百万円の減少となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金の減少56億46百万円、現金及び預金の増加10億1百万円、流動資産「その他」に含まれる前渡金の増加10億58百万円であります。

負債は330億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ38億92百万円の減少となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少35億78百万円であります。

純資産は148億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億50百万円の増加となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ2.9ポイント増加し、30.2%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は103億3百万円(前年同期は84億39百万円)となり、前連結会計年度末に比べ10億1百万円の増加となりました。

各キャッシュ・フローの状況と主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、22億43百万円の収入(前年同期は39億97百万円の収入)となりました。

主な収入項目は、税金等調整前四半期純利益9億91百万円及び売上債権の減少額56億44百万円であり、主な支出項目は、仕入債務の減少額35億78百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、1億97百万円の支出(前年同期は3億56百万円の支出)となりました。

主な支出項目は、有形固定資産の取得による支出2億34百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、10億45百万円の支出(前年同期は13億81百万円の支出)となりました。

主な支出項目は、借入金の純減少額7億7百万円及び配当金の支払額2億66百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成30年5月15日に公表いたしました内容から変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,335	10,337
受取手形及び売掛金	25,410	19,763
商品及び製品	1,099	831
原材料及び貯蔵品	32	37
その他	1,901	3,294
貸倒引当金	△5	△6
流動資産合計	37,773	34,256
固定資産		
有形固定資産		
土地	5,385	5,385
その他(純額)	2,819	2,888
有形固定資産合計	8,204	8,273
無形固定資産		
	273	258
投資その他の資産		
その他	5,022	5,044
貸倒引当金	△6	△8
投資その他の資産合計	5,016	5,036
固定資産合計	13,493	13,568
資産合計	51,267	47,825

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,807	23,229
短期借入金	1,550	1,400
1年内返済予定の長期借入金	933	725
未払法人税等	566	365
賞与引当金	390	350
その他	2,437	3,072
流動負債合計	32,685	29,143
固定負債		
長期借入金	997	648
特別修繕引当金	54	67
退職給付に係る負債	1,088	1,118
その他	2,081	2,037
固定負債合計	4,222	3,872
負債合計	36,908	33,015
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,354	2,354
資本剰余金	1,288	1,288
利益剰余金	9,477	9,857
自己株式	△61	△49
株主資本合計	13,058	13,451
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	558	609
繰延ヘッジ損益	△1	0
退職給付に係る調整累計額	384	375
その他の包括利益累計額合計	941	985
非支配株主持分	359	373
純資産合計	14,359	14,809
負債純資産合計	51,267	47,825

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	44,224	46,356
売上原価	39,617	41,687
売上総利益	4,607	4,668
販売費及び一般管理費	3,700	3,731
営業利益	906	937
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	31	32
受取賃貸料	31	30
持分法による投資利益	11	11
その他	10	35
営業外収益合計	87	113
営業外費用		
支払利息	49	35
その他	21	26
営業外費用合計	70	61
経常利益	923	989
特別利益		
固定資産売却益	2	1
関係会社清算益	31	—
特別利益合計	33	1
税金等調整前四半期純利益	957	991
法人税、住民税及び事業税	267	323
法人税等調整額	43	0
法人税等合計	311	324
四半期純利益	646	667
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	18
親会社株主に帰属する四半期純利益	634	649



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
四半期純利益	646	667
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	105	51
繰延ヘッジ損益	1	2
退職給付に係る調整額	14	△9
その他の包括利益合計	121	44
四半期包括利益	767	712
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	754	692
非支配株主に係る四半期包括利益	13	19

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	957	991
減価償却費	276	240
長期前払費用償却額	4	2
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	6	3
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△32	△40
退職給付に係る資産負債の増減額	20	12
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△80	46
受取利息及び受取配当金	△34	△36
支払利息	49	35
持分法による投資損益 (△は益)	△11	△11
固定資産処分損益 (△は益)	△2	△1
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,391	5,644
たな卸資産の増減額 (△は増加)	177	263
前渡金の増減額 (△は増加)	△248	△1,058
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,030	△3,578
関係会社清算損益 (△は益)	△31	—
その他	672	256
小計	4,363	2,770
利息及び配当金の受取額	38	40
利息の支払額	△49	△35
法人税等の支払額	△340	△517
その他	△14	△14
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,997	2,243
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△253	△234
有形固定資産の売却による収入	2	2
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
投資有価証券の売却による収入	6	—
貸付けによる支出	△53	△2
貸付金の回収による収入	5	4
その他	△60	35
投資活動によるキャッシュ・フロー	△356	△197
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△150	△150
長期借入金の返済による支出	△904	△557
自己株式の売却による収入	15	17
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△234	△261
非支配株主への配当金の支払額	△4	△4
その他	△102	△88
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,381	△1,045
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,260	1,001
現金及び現金同等物の期首残高	6,178	9,302
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,439	10,303

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	電機 関連事業	機械 関連事業	建材・燃料 関連事業	海運 関連事業	建設機械 関連事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高								
外部顧客への売上高	11,545	4,345	18,098	8,411	1,824	44,224	—	44,224
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12	—	221	7	12	253	△253	—
計	11,557	4,345	18,319	8,419	1,836	44,478	△253	44,224
セグメント利益	550	74	153	126	39	944	△37	906

(注)1 セグメント利益の調整額には、各セグメントに配分していない全社費用△42百万円、セグメント間取引消去額4百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	電機 関連事業	機械 関連事業	建材・燃料 関連事業	海運 関連事業	建設機械 関連事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高								
外部顧客への売上高	11,391	4,295	19,850	8,890	1,928	46,356	—	46,356
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12	0	358	5	12	389	△389	—
計	11,404	4,295	20,208	8,896	1,940	46,745	△389	46,356
セグメント利益又は セグメント損失(△)	499	△40	238	200	73	971	△33	937

(注)1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額には、各セグメントに配分していない全社費用△33百万円、セグメント間取引消去額△0百万円が含まれております。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。